



2013.4.5

No. 231

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

出村良平

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

春闘スタート! 3.6全道総決起集会開催

2013春季生活闘争・第23回参議院選挙闘争勝利!

連合北海道は、3月6日午後6時より、2013春闘全道総決起集会を札幌市民ホールで開催し、満場の約1,500人超の組合員が参加した。

集会の冒頭、工藤闘争本部長の挨拶では、「今春季生活闘争は、すべての働く者の傷んだ雇用と労働条件の復元が最大のテーマである。安倍政権が進める金融緩和や企業に対する補助といった小手先の政策ではなく、堅い内需に支えられた経済と安定した社会の実現が不可欠であり、そのためには、分配のルールを労使で確認する生産性3原則をもう一度見直し、傷んだ雇用と労働条件を何としても復元しなければならない。」と強く訴え、要求を明確にし共闘を強化しながら積極的な参画を各構成組織に求めた。

引き続き、出村事務局長から闘いの方針提起として、「1997年以降、5%低下した賃金水準を復元するため定昇（賃金カーブ維持分）の確保と、給与総額1%アップを求めていくこと」を提起した。さらに、3月11日から始まる第1次交渉ゾーン（最大のヤマ場13日、14日）に向け、多くの産別で団体交渉を配置し、闘いに臨む体制を確認し合い、要求実現に向けて共闘の輪を広げていこうと訴えた。

この後、2産別・1地協からの決意表明が行われ、UAゼンセン・西友労組の内田委員長より非正規労働者を組織化した好事例の紹介と、自治労・大出書記長より自治体財政の確立に向けた決意、また地域からは、十勝地協・



木下事務局長より、力強い決意表明があった。

続いて、第23回参議院選挙（北海道選挙区）候補予定の参議院議員・小川勝也さんの紹介DVDが上映された後、連合推薦の比例区候補予定者9名の出身産別担当者が入場し、小川勝也さんが候補予定者を代表して参議院選挙闘争・連合推薦候補予定者の完勝を誓って決意表明がなされた。

この後、集会決議（案）が、瀧口青年委員会委員長から力強く提起され、満場一致で採択された。最後は集会の締めくくりとして、林本部長代行の「団結ガンバロー」の三唱で集会は幕を閉じた。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/spring/2013031102_sprjoho2.html



3.8国際女性デー全国統一行動北海道集会

12産別、6地区、約200名が参加

3.8国際女性デーは、1857年にニューヨークで起きた工場火災で、多くの女性たちが亡くなったことを受け、3月8日に低賃金・長時間労働に抗議、婦人参政権を求める集会が開かれたことが起源となっている。

連合は1996年から春季生活闘争の中に国際女性デーの行動を位置づけて、全国の仲間たちとともにこの統一行動を取り組んでいる。

2013年度の北海道の取り組みとして、3月9日、ホテルノースシティ札幌において全道集会を開催し、悪天候の中、12産別、6地区、約200名の仲間が参加した。

冒頭、山田女性委員会委員長は、「男女間における賃金格差や性別役割分業意識等、女性の地位向上のためにさまざまな課題が存在するが、その解決にむけては当事者の意見を聞くことが秘訣。非正規労働者の組織化を含め、女性を中心とした参加・参画を促進し、男女が安心して働きつづけられる社会をつくっていききたい」とあいさつがなされた。

次に、来賓の小川勝也参議院議員からは、男女平等参画推進政策の動向について、「民主党政権下では、だれもが“働くことができること”“子供を産み育てられること”に注目し、労働契約法改定や子供手当の創設、高校授業料の無償化等を実現してきたが、今後、雇用の二極化がさらに進むことや地方交付税の削減、生活保護費引き下げ等により北海道の生活水準が下がることが懸念される」と、現政権への危機感が訴えられた。

その後、連合本部の曾根崎男女平等局長からは、連合



の男女平等参画推進計画について、(1)意思決定機関への女性参画の意義、(2)第3次計画の総括、(3)第4次計画の概要やスケジュール等について提起がなされ、引き続き行われた講演では、UAゼンセンの和田水穂さんより、『女性がイキイキと働き続けられるために』と題して、産別の特徴や男女平等推進の理念、加盟組合の取り組み等について紹介されるとともに、女性における活動参画のポイントとして、「女性は謙遜する傾向があるが、役員登用等要請があった場合には、都合が悪くない限り断らない」「あまり頑張りすぎずに活動が続けることが重要」「できないことがあっても自分を否定せず、自分の価値ある部分を自身で評価して欲しい」等について講演された。

また、連合北海道渡辺副事務局長は「①本集会を通じて得たものを現場展開すること。②参画推進に向けては4次計画に寄せられた意見、職場の課題や家庭の課題などを洗い出し、一つひとつ解決を図ること。③男女平等参画はまさしく政策と運動の両輪のかみ合わせが必要」とし、そのために参院選での連合推薦候補の必勝に向けた取り組みを訴えた。最後に一人ひとりの行動で「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざそうというアピール文が読み上げられ、採択された。

女性に着目した統一行動だが、男性の参加も多くみられ、本集会は成功裡に終了した。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013030901_3.8womenday.html



連合北海道 非正規労働ホットライン

—パート・契約・派遣・請負で働く人の集中労働相談—

【全国一斉労働相談キャンペーン 集計結果】

連合は、2月7日(木)～9日(土)に、全国一斉「非正規労働ホットライン」を実施した。

期間中に連合北海道によせられた相談は72件。前年同時期の倍を上回る相談件数となった。今回の「非正規労働ホットライン」によせられた相談件数が昨年より倍

増したこと、4月1日から改正労働契約法・改正高齢者雇用安定法が施行されたこと、昨年10月1日より改正労働者派遣法が施行されたことを鑑み、連合北海道単独で3月21日・22日の両日に「集中相談ダイヤル」を設置した。

【全体の特徴】

■72件の相談があった。(2012年同ホットラインは35件)

■最も多い相談内容は、「解雇・退職強要・契約打切」などの雇用関係で27.8%。次いで「年次有給休暇」などの労働時間関係で13.9%、「就業規則・雇用契約」などの労働契約関係で11.1%と続く。男女別では男性が55.6%であり、年代は40代が最も多い。雇用形態別では、62.5%がパート、アルバイト、派遣・契約社員等の非正規労働で

あった。

■相談内容では、「更新を繰り返し7年にわたるが、無期契約へ転換できるのか」「臨時職員には通勤交通費は支払われないのか」など、4月1日施行の改正労働契約に関わる相談も寄せられた。連合北海道は、引き続き未組織労働者への周知と法の活用に取り組んでいく。

【相談事例(抜粋・全国含む)】

○今まで、パート社員として半年ごとの契約で7年間働いてきた。今年の4月から5年以上働いていると無期契約になると聞いたが、どのようなことなのか教えて欲しい。(パート・女性・50代)

○パートタイムで、1日5時間・週6日の勤務を8年間続けているが、雇用保険に加入してもらえない。会社は、「4月から加入する」と言っているが、これまで働いてきた分はどうなるのか。年次有給休暇もこれまで一切付与されていない。(パート・女性・50代)

○契約社員は、1年契約を反復更新し、勤続10年の職員もいた。しかし、今回の労働契約法の改正を受けて、社会保険労務士が理事者にアドバイスし、今回の更新から、契約は1年限りとして、毎年1年契約の臨時職員を募集すると言いつつ出した。今回更新してもあと1年で雇止めされるため、モラルや意欲が低下し、今回の契約を辞退する人もいる。法違反ではないのか。(契約社員・男性・40代)

○契約社員について、試験に合格した者のみ専門職として採用されることになった。しかし、試験の合格者は半分以下で、不合格者は子育て・介護など家庭の事情を抱えた人ばかりだった。業務の内容は、専門職となっても何も変わらない。会社にとって不都合に思える者を解雇するための制度変更だったのではないのか。会社は人員募集している。(契約社員・女性・30代)

○1年契約の契約社員。雇用契約の締結時には、「異動はなし」とあったが、直近の更新時に、異動も考慮するようになると言われ、受け入れられない場合には契約更新は困難であるかのように、ほのめかされた。異動や転勤なしで安心し

て働いてきたのに、どうすればよいか。(契約社員・男性・50代)

○1年契約で働いている。今年に入ってから、上司から朝礼の時に、「ミスが多い」「仕事があっていないのではないのか」「3年経っても何もできない」などと言われ、書類を投げ飛ばされたこともある。3月末で契約が切れるが、更新してもらえるのか不安である。(契約社員・女性・20代)

○1回の契約期間が、3か月単位だったのが2か月単位となり、時給も1000円から900円に引き下げられてしまった。なんとかならないものか。(派遣社員・男性・50代)

○派遣会社と昨年秋に雇用契約を結び、メーカーに派遣されている。2月に入り、突然、2週間後を最終業務として、派遣契約を途中で打ち切ると派遣先から通知された。理由は部署の統廃合である。(派遣社員・女性・年齢不明)

○自治体の臨時職員として働いている。現在、通勤交通費が支給されていないが、臨時職員には通勤交通費が出ないものなのか。採用時には、労働条件の提示はなく、労働条件がどのようになっているのか分からない。勤務時間中や通勤途上でのけがの際の治療費や補償は、自分で加入している医療保険での対応になるのか。(臨時職員・男性・年齢不明)

○嘱託職員と正規職員の昇給額に大きな差がある。また、正規職員のみを支払われる手当も存在する。経験が生かされず、一般試験を受けるしか正規職員への登用の道がない。どのようにすれば処遇改善できるのか(嘱託・男性・年齢不明)

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013020901_sodan.html

環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加の正式表明に対する談話

連合会北海道事務局長 出村 良平

安倍首相は15日夕刻、すべての関税がゼロとした場合でも日本経済全体にプラス効果があるとした政府の統一試算を示し、TPP交渉参加を正式に発表した。国民的な論議も十分に保障しない、交渉参加ありきの合意なき拙速な判断は到底認められるものではない。

これまで連合北海道は、TPP交渉参加について、関税撤廃を原則とする市場アクセスの他、医療制度、食の安全基準、金融・保険、労働市場、政府調達など21分野にも及び、経済や産業、地域など国民生活

や社会のあり方と深く関わっていることを指摘し、国民に対する情報開示と丁寧な説明、広範な論議を行うよう主張してきた。

特に北海道は、農林水産業をはじめ第一次産業が基幹であり、食品加工や流通・サービスなどの関連産業を含め、地場産業の衰退や雇用の喪失など道内経済や地域の疲弊が懸念されることから、オール北海道で慎重な対応を政府に求めてきた。3月11日には、TPP交渉参加反対緊急道民集会実行委員会の構成団体として、緊急全道集会を開催してきた。

TPP交渉参加の表明は、こうした懸念の解消や求めに応じないばかりか、「聖域なき関税撤廃を前提とする限り、参加交渉に反対する」などとした6項目順守の自民党選挙公約とも齟齬をきたす。与党内においても、自民党所属議員が半数以上も「TPP参加の即時撤回を求める会」に加わるなど賛否は二分しており、各自治体の慎重判断を求める政府要請や各地域での市民や各種業界による反対集会の開催など、国民的コンセンサスを得られているとはいえない。

こうした地方の特性や産業構造の違いなどを考慮せず、地域やそこに住む生活者の視点を欠いた一律的な政府の判断は、厳しく批判されなければならない。

連合北海道は、今後も政府に対してTPPに関する情報開示や将来の展望に向けた説明を求め、国民各層から意見を聴取して参加交渉に反映させるなど、国民の利益を最大限追求する観点で、交渉参加からの撤退を含

め外圧に屈しない毅然とした対応を強く要請する。

同時に、TPP交渉参加によって打撃が懸念される農林水産業を守るためのあらゆる施策を講じるとともに、医療・保険、食料の安全保障、中核的労働基準など安心社会の基盤となる重要事項について重点的に対策を行うよう求めている。

北海道にとって、TPP問題は死活問題である。連合北海道は、地域社会・経済・産業、労働者・市民の雇用や暮らしを守るため、引き続き、TPPに関する国民が納得できる詳細な情報や丁寧な説明を求め、農林水産業関係者をはじめ全ての関係団体・組織が一丸のもとオール北海道で国民・道民の合意なき対応に対しては厳しく対峙していく。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/danwa/2013031802_tppdanwa.html

第23回参議院議員選挙

支持者紹介運動実施中



連合北海道は、現在、組合員1人5人を目標とする「小川勝也候補予定者の支持者紹介運動」を行っています。全組合員の取り組みをお願いします。

■北海道選挙区

小川 勝也

1963年 上川郡和寒町生まれ
1982年 公立旭川北高卒業
1987年 日本大学法学部を卒業
1995年 32歳で参議院議員に初当選
2001年 参議院議員選挙再選
2007年 参議院議員選挙3選を果たす

【主な経歴】

内閣総理大臣補佐官
(農山漁村地域活性化担当)
防衛副大臣
参議院農林水産委員長
【道内での経歴】
民主党北海道副代表
民主党北海道選出国会議員会・会長
連合北海道国会議員団会議・会長
民主党北海道選挙対策本部長

■比例区 連合組織内候補者 ※50音順 (第12回 中央執行委員会決定 2012・9・21)

●自治労 あいはら くみこ

現職・65歳[女]・参議院議員[1期]

●電機連合 石上 としお

新人・50歳[男]・東芝グループ連合副会長

●自動車総連 いそざき 哲史

新人・43歳[男]・自動車総連特別中央執行委員・日産労連特別中央執行委員

●日教組 神本 みえ子

現職・64歳[女]・参議院議員[2期]

●UAゼンセン かわい たかのり

現職・48歳[男]・参議院議員[1期]

●JP労組 さだみつ 克之

新人・53歳[男]・日本郵政グループ労働組合特別中央執行委員

●基幹労組 とどろき 利治

現職・52歳[男]・参議院議員[1期]

●電力総連 浜野 よしふみ

新人・51歳[男]・全国電力関連産業労働組合総連合会長代理

●情報労連 吉川 さおり

現職・35歳[女]・参議院議員[1期]



4月の主な動き

■組織拡大担当者情報交換連絡会

1日(月) 15:00/連合北海道会議室

■2013年第2回メーデー実行委員会

3日(水) 13:30/自治労会館

■中小・パート労働条件委員会

4日(木) 13:30/連合北海道会議室

■大間原発視察

10日(水)～11日(木) /青森県

■第19回中央執行委員会

11日(木) 13:30/連合会館

■地方財政確立道民会議シンポジウム

19日(金) 18:00/か・でる

■渡島地協地場中小解決促進集会

19日(金) 18:00/函館国際ホテル

■札幌圏地協地場中小解決促進集会

22日(月) 18:30/エルプラザ

■第7回執行委員会

24日(水) 10:00/連合北海道会議室

■第6回地協事務局長会議

24日(水) 13:30/連合北海道会議室

■第2回政策委員会

25日(木) 10:00/自治労会館

■第18回全道セーフティネット集会

25日(木) 13:00/自治労会館

■第2回最低賃金対策委員会

26日(金) 13:30/連合北海道会議室

イベントカレンダー